

「分野名称」及び「実証ロゴマーク」の検討について

1. 検討の背景

(1) 分野名称について

山岳トイレし尿処理技術分野においては、実証の対象範囲を、「山岳」から「山麓」、「海浜」、「離島」へと拡大し、既に実証実績を得ている。これらの現状を踏まえ、環境技術実証事業検討会（親検討会）においても「山岳トイレし尿処理技術分野」の名称を今後検討していく必要があるとの意見が出されている。

(2) 実証ロゴマークについて

技術ベンダーの参加メリットの向上や、技術ユーザーの導入へのインセンティブとして、ロゴマークの活用方法が検討されている。各分野において自由設定が出来る部分について、文言を検討する。

2. 前回会合での要点

(1) 分野名称について

- 技術の誤った認識を防ぐため、あいまいな表現となる用語の使用は回避することとする。

(2) 実証ロゴマークについて

- ロゴマークについては、取得年度を明記する。
- 技術の適用環境をイメージしやすいキーワードを含めることが望ましい。
- 分野名称とあわせて検討されることが望ましい。

3. 実証申請者からの意見

これまでの実証申請者に対し上記1. 検討の背景及び2. 前回会合での要点について説明を行い、電話ヒアリングを実施した。（一部 FAX・メールにより意見収集）ヒアリングの結果を以下に示す。（回答は9社）

参考；実証申請者からの意見（分野名称について）

名称案	提案理由
・環境配慮型非放流式し尿処理技術分野	—
・環境配慮型し尿処理技術	山岳と名称が入ると、「専用」のようなイメージが残る

分野	
・自然環境配慮型し尿処理技術分野	分野名は総称にして、その下に処理方式による部分を入れればよいのではないのでしょうか？
・環境保全型トイレ技術分野	山岳に特定しないなら、名称から山岳を除いたほうが良いのでは？
・非生活圏対応型し尿処理技術分野 ・自然エリア対応型トイレ技術分野 ・自然エリア対応型し尿処理技術分野	下水道・浄化槽放流でなく、くみ取りでもないトイレ技術であって山岳限定の技術ではなく、また、環境負荷が設置エリアにおいて妥当なレベルであるならば、地下浸透、蒸発、水無使用ほかにこだわる必要もなく、一部又は全部放流でも良いのではと思います。その意味合いから、非放流という言葉は使わず、下水道・浄化槽が生活圏の技術であることをふまえ、左記が適当なのではと考えます。
・非放流式トイレ技術分野	—
・環境配慮型山岳トイレ技術分野	—
・環境配慮型山岳し尿処理技術分野	—

参考；実証申請者からの意見（実証ロゴマークについて）

意見
現行[原案]のままでよろしいと思います。
分野名称を入れる。
他の実証事業との区別を明確にするため、分野名称を記すほうが良いと思う。
実証された技術分野の表示は有った方が良いと考えます。あるいは、技術分野ごとに文言を決めて表示するとかはいかがでしょうか？ 例)環境に優しい山岳トイレを目指して
現行のロゴマークには、何の技術実証が表示がないためわかりません。トイレ技術等の表示が出来ればわかりやすいと思います。実証マークの取得年度を明記する案にも賛成です。
取得年度の明記があったらいいと思います。「トイレ排水を環境中に排出しない地球にやさしいトイレ技術です。」
商品がトイレ排水を処理して再利用することから「トイレ排水処理後、一切外部排出しないあらゆる環境に配慮したトイレ技術」と考えます。なお、上記されております意見に対しましては、取得年度は入れてほしいです。キーワードは必要ないと思います(どこでも設置可能だし、限定はないから)
取得年度→明記には賛成。明記場所は統一したほうが良い。 色→現状の色でよいと思うが、各分野で色分けしてもよい。 コメントについて→各分野ではなく、各社で設定可能ではどうか？

4. 事務局案

(1) 分野名称について

アンケートで提示した説明資料（巻末添付）における例示の影響もあり、分野名称は、下図のように、“技術の特徴を表す前段 A”と“技術分野（トイレ）を示す後段 B”の2段階で構成されている結果となった。



前段 A の部分については次のとおり。「環境配慮型」4件、「自然エリア対応型」2件、「非放流式」2件、「山岳」2件、「自然環境配慮型」1件、「非生活圏対応型」1件となっている。

また、後段 B の部分についての意見は、「し尿処理技術」を用いているものは 6 件、「トイレ技術」を用いているものは 4 件となっている。

<名称案>

1. 環境配慮型し尿処理技術分野
2. 環境配慮型トイレ技術分野
3. 非放流式し尿処理技術分野
4. 非放流式トイレ技術分野
5. 先進的汲み取りトイレ技術分野
6. 水質保全型し尿処理技術分野
7. 無水・節水型サニテーション技術分野
8. その他

<留意点>

- ・ (自然) 環境配慮型：全分野の対象技術に共通するキーワードである。
- ・ 非放流式：“非放流”が厳密に限定されない場合がある。
- ・ 非生活圏：適用地が非生活圏に限定されてはいない。
- ・ 自然エリア対応：本技術が自然エリアに限定されてはいない。

(2) 実証ロゴマークについて

ロゴマークに表記すべき内容としては、「実証ロゴマーク取得年度」及び「技術分野名称」が各 2 件あげられた。各表記内容案について以下に示す。

1. 「実証ロゴマーク取得年度」及び「技術分野名称」
2. 処理物を環境中に排出しないトイレ技術です
3. 環境に優しい山岳トイレを目指して
4. トイレ排水を環境中に排出しない地球にやさしいトイレ技術です
5. 山岳トイレなどでし尿を衛生的に取り扱う技術です。
6. キーワード不要



ロゴマークイメージ案